

弘 濟 会 報

2018 (平成30年)
7.10 No.169
KOSAIKAIHO



CONTENTS

支部長交代挨拶 (竹井千庫・門野八洲雄)	2
平成30年度役員	
教育研究論文・著書募集	3
平成29年度受賞者のご紹介	
セミナー開催のご案内	4
随想「勇気づけ」(梅原信芳)	5
福祉事業のご案内	
学校園紹介 (岡山県立和気閑谷高等学校)	6
文芸のひろば	7
球根贈呈校園紹介	8

絵画 | 夏の海でシュノーケル
岡山大学教育学部附属小学校6年(当時) 岡本 高煌





就任のごあいさつ

公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部 支部長 竹井 千庫

このたび、門野八洲雄前支部長の退任に伴い、岡山支部長に選任いただきました竹井千庫でございます。

微力ではありますが、日教弘岡山支部の事業や運営について、当法人の趣旨を踏まえ、本県の教職員や子どもたちのために精一杯努力してまいり所存でございますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、私はこれまで、中学生や高校生が、スマホサミットでの取り組みや、インターハイなどの実行委員会での活動を通して、創造性や自主性、協調性を身に付けるなど、大きく成長していく姿を見てまいりました。これも教職員や関係の皆様方の温かく、粘り強いご指導・ご支援の賜と感謝しております。

現在、岡山支部では、さまざまな公益活動に取り組む中で、教育振興事業として、教職員を支援する学校研究助成や教育研究論文・著書の助成などに取り組むとともに、学校や地域の子どもたちの活動を支援する教育文化助成や教育カレンダーの作成・配付などを行っています。

これらの継続的な取り組みが、本県教職員の専門性や指導力の向上とともに、子どもたちの健やかな成長に結び付いていくものと確信しています。

こうした思いを胸に、これまで諸先輩方が築いてこられた弘済会の活動を、会員の皆様方のご理解とご協力を頂きながら、一層の充実・発展に努めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

平成30年度 第1・2回運営委員会 第1・2回幹事会

去る5月21日、ピュアリティまきびにおいて平成30年度第1回及び第2回運営委員会・第1回及び第2回幹事会を開催しました。会議では、門野八洲雄支部長の挨拶に引き続いて議事に入りました。平成29年度事業報告及び決算報告、平成30年度事業計画案及び収支予算案は、いずれも原案どおり異議なく承認されました。

また、任期満了に伴う幹事、監査及び運営委員の改選等が行われ、下表のとおり選任されました。

平成30年度岡山支部役員一覧

顧問	鍵本 芳明			
支部長	竹井 千庫※			
副支部長	石井美由紀	近藤 治	三上 雅弘	
	三宅 泰司			
常任幹事	竹入 隆弘※			
幹事	石川 浩子	入澤 晃爾	梅原 信芳	
	佐藤 雅子	砂川 芳毅	谷 尚子	
	鳥越 範博	那須 知美	福島 光三	
監査	岡田 哲朗	川井 敏之		
運営委員	梶原 洋一	片山安基夫	國友 道一	
	小林 英一	近藤 博	谷口 俊郎	
	二宮 幸得	平井 信雄	松本 太	
	山本 近信	(役職別、※は事務局役員)		

退任のごあいさつ



門野 八洲雄

このたび、公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部長を退任させていただきました。

在任中は、公益財団法人に移行して間なしであったため、法人としての基盤整備や公益・福祉事業の充実等に努めてまいりました。

弘済会の事業資金は、教職員を対象にした教弘保険を取り扱うジブラルタ生命保険(株)から、(公財)日教弘本部に入る契約者配当金等が教弘保険の契約実績等に応じて各支部に交付されてきます。

皆様方のご支援・ご協力と、ジブラルタのLCさん方のご努力等のお陰で、諸事業を充実させることができ、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも日教弘岡山支部を、ご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

平成30年度 教育研究論文・著書募集中!

たくさんのご応募
お待ちしております



募集部門	助成金額等	
● 学校部門 (論文)	最優秀	30万円
	優秀	20万円
	優良	10万円
	奨励	5万円
● 個人部門 (論文)	最優秀	20万円
	優秀	12万円
	優良	7万円
● 著書部門	奨励	3万円

弘済会では、教育の実践研究をまとめた論文・著書を募集し、優れた実践研究に対して助成を行っています。受賞者には表彰式にて助成金(目録)及び賞状を贈呈し、優良以上の論文・著書は「教育研究集録」にまとめ、県内の学校や教育機関等に配付します。

応募締切 毎年 **9月30日** ※応募締切日が土日祝日にあたる場合は、その直前の平日を締切日(必着)とします。

応募方法 ホームページ (<http://okakyoko.or.jp>) に詳しく掲載しております。

～平成29年度 教育研究論文・著書 受賞者のご紹介～

平成29年度受賞者の方々に次の質問にお答えいただきました。

- 1 受賞のご感想 3 研究にまつわるエピソード(得た成果、工夫点など)
2 ご応募のきっかけ 4 今後の取組



受賞者の方々の論文は、「教育研究集録」でお読みいただけます!(HPでもご覧いただけます。)



学校部門 最優秀賞
赤磐市立高陽中学校

代表者 **平田 俊治** 校長

幸せを感じる学校教育をめざして一地域との協働や社会貢献活動を通して、自尊感情を高め、幸せを感じる生徒を育成する一

- 1 このような栄えある賞をいただいたことは、献身的に協力いただいた学校支援地域本部実行委員やボランティア、保護者、教職員の大きな励みと自信になりました。本当にありがとうございました。
- 2 私は、生徒指導の厳しい学校に次々と赴任し、「何と

かしなければ」と地域連携を始め、気がつくと10年が経っていました。これを機に、学校支援の成果と課題をまとめ、学校再生に奮闘する先生方の一助になればと思い、応募しました。

- 3 赴任した学校で学校支援を始めると、生徒は落ち着きを取り戻しました。それらの実践から、学校支援は「学校に対する安心感」と関係し、それが満たされると、「社会貢献への欲求」といった上位の意識に昇華することがわかりました。
- 4 厳しい環境の生徒も含め全ての生徒が、幸せに生きていく力を身につけ、社会に貢献できる人間になるため、これからも地域のみなさんや保護者、教職員と一緒に、学校にできることを模索していきたいです。



個人部門 最優秀賞
岡山県立岡山朝日高等学校

平田 丞二 教諭

作文を用いた対話による深い学びの試み—高等学校3年生教科現代文での評論文教材を用いた研究実践とその考察—

- 1 このように素晴らしい賞をいただけたこと、恐縮するとともに本当に有り難く思っています。志高き素晴らしい生徒たちに囲まれて研究実践できたことと、学究的な職場の雰囲気とが後押ししてくれたものと、感謝しています。
- 2 今回の論文の柱となった「作文」指導については、以前

から特に興味を持って研究してきました。勤務校の『研究紀要』にも、いくつかの論考を発表していましたが、学校以外の場での挑戦と研鑽をと思い立ち、応募しました。

- 3 「作文」に対して苦手意識を持つ生徒は少なくありませんが、「作文」を媒介とした級友との対話が有効であったこと。また、よい刺激となって主体的に作文に取り組めたという傾向を示すアンケート結果や、実際の作文からも生徒の成長を感じ取れました。
- 4 今回は、一つの評論文を用いた高校3年生を対象とした取り組みでしたが、他の学年や小説文などにも応用し、改良を加えた研究を行っているところです。同時に、OJTを意識した、学年の国語科を中心とする共同研究も進めています。



個人部門 優秀賞
兵庫教育大学附属小学校(受賞時:津山市立高野小学校)

池上 直紀 教諭

児童の成長を促す学校づくり—開発的生徒指導における組織的取り組みに関する一考察—

- 1 このように素晴らしい賞をいただき大変感謝するとともに、高い評価をいただいたことをうれしく思っています。「開発的生徒指導」をキーワードに教職員と児童が一緒に取り組んだ実践が、岡山県の教育に少しでも貢献できれば幸いです。
- 2 弘済会の教育研究論文募集を契機に、この2年間の本校

の開発的生徒指導の取り組みをふり振り返り、成果と課題をまとめたいと思いました。そして、この取り組みに対して、多方面からのご指導をさせていただけることを期待し、応募させていただきました。

- 3 本校では、生徒指導上の課題が明確であったので、教職員が開発的生徒指導の必要性を感じていました。したがって、生徒指導部が中心となり生徒指導に対する考え方と具体的取り組みを共有し一貫した指導を行いました。
- 4 全ての子どもたちの人間的成長を促していきたいと考えています。そのためにはまず、目の前の子どもの事実から正面から向き合い、一人一人の課題の根っこの部分を見抜く力が必要であると考えます。これからも努力を怠らず、研究を深めていきたいと考えています。

平成30年度 セミナー・退職準備セミナー開催のご案内

参加費
無料

申込方法

ジブラルタ生命LC（学校園担当営業社員）
または弘済会事務局（☎086-272-1909）までご連絡ください。

平成30年度 セミナー

専門講師が資産防衛・資産運用の基本的知識やノウハウなどをお伝えします。
ご関心のある内容に、ぜひご参加ください。

8月25日(土) 会場：おかやま西川原プラザ

午前の部

受付開始 10:00～
開催時間 10:30～12:00

●知っ得！リタイアメント・ナビ

リタイア後の生活は「環境面」と「経済面」でこれまでにない大きな変化があります。この変化に上手に対応し、安心して楽しく有意義なセカンドライフを過ごすための基礎的・基本的ノウハウについてお話しします。

午後の部

受付開始 13:00～
開催時間 13:30～15:30

●相続・遺産分割セミナー

相続が「争族」とならないために、相続・遺産分割・生前贈与・相続税等に関する最新情報と今日からできる具体的な対策方法などをご説明します。

■定員：各セミナーにつき**50名**（お申し込み先着順）

■対象：岡山県内の教職員の皆様（退職された方も受講可能）

■会場：おかやま西川原プラザ 岡山市中区西川原255番地 ☎(086)272-1923(当日のご連絡先)
※駐車場有（受講者無料） ※カーナビご使用の際は、所在地での検索をお願いします。

平成30年度 50代からの「退職準備セミナー」

本年度末及び数年後にご退職の教職員の皆様を対象に、豊かなセカンドライフのためのセミナーを開催します。

このセミナーは、新たな人生のステージを迎えられる方々にとって生活設計の指針となる内容で、毎年多くの方々にご参加いただき、ご好評を得ています。ご都合のつく会場へぜひお越しください。

本年度末ご退職
でない方も
ぜひご参加
ください！



倉敷会場

10月20日(土) 受付開始 13:30～
開催時間 14:00～16:30

倉敷市環境交流スクエア（水島愛あいサロン）

倉敷市水島東千鳥町1-50
TEL(086)440-5511

岡山会場

11月3日(土) 受付開始 13:00～
開催時間 13:30～16:00

おかやま西川原プラザ

岡山市中区西川原255
TEL(086)272-1923

※カーナビご使用の際は、所在地での検索をお願いします。

主な内容

- 教弘保険等、ご退職に伴う保険料払込方法変更手続きの概要
- 「岡山教弘友の会（退職会員の会）」の活動内容のご紹介
- 専門講師による豊かなセカンドライフのための情報提供

このほか、新見・津山・浅口でも開催予定です。開催日は弘済会報秋号でお知らせします。

ジブラルタ生命保険(株)岡山支社 各営業所 電話連絡先

- 岡山第一・第四・第六 ☎086-271-2010
- 津山 ☎0868-22-4053
- 笠岡 ☎0865-62-4455
- 教職員専用フリーダイヤル ☎0120-37-9419
- 岡山第二・第三・第五・第七 ☎086-234-7501
- 倉敷 ☎086-422-1769
- 総社第一・第二 ☎0866-92-6550



随想「勇気づけ」

岡山市立藤田中学校 校長 梅原信芳

漫画版がベストセラーとなっている吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」を、昨年度の卒業式の式辞で取り上げました。PTA会長も祝辞の内容の一つにされたことには驚きました。私の後で話される会長は焦られたことでしょう。

人間関係は、思春期に限らず人生を過ごしていく上で最も幸せを得られるものであると同時に最も大きな悩みであると思います。人間関係でつまずいたときに、自分の行動を後悔し、なんとか改善を図りたいと悩むことは度々です。この本には正しい生き方は示されていません。「どう生きるか自分で考え続けること」「抱え続けることを放棄しないこと」を勇気づけてくれます。

「自分で考えて判断して行動すること」は様々な場面で求められます。しかし、本当に思い悩むのはその後だと思うのです。難しいのは自分の行動から生じた結果を引き受け

るということです。うまくいなくても逃げ出さず、悩み苦しむことを引き受け、今なすべきことをやっていくことはなかなかできません。その前で立ち止まってしまう。正しい答えを学ぶのではなく、自分が大切だと感じたことに正面から向き合う経験を重ねることが自分の成長につながると気づけたときに、もう一度挑戦する勇気が持てます。この本では「立派な人間とは、失敗があっても自分の意志で自分の生きる道を決めていく人」「僕たちは自分で自分を決定する力を持っている。だから誤りから立ち直ることもできる」という言葉で結果を引き受けることを勇気づけてくれます。

式辞を考えながら、思春期の悩みは実は人生の悩みであることに気づかされました。卒業生への勇気づけは自分への勇気づけだったのかもしれない。子どもの隣に座り共に人生を考える大人でありたいと思っています。PTA会長と思いは同じと感じた卒業式でした。

教弘保険ご加入の皆様へ 福祉事業のご案内

各種福祉事業には、**申請期限**がございます。
該当する事業がないか、**ぜひ一度ご確認ください。**

申請漏れはございませんか？

該当される方は、お早めにジブラルタ生命LC（学校園担当営業社員）にご連絡ください。

結婚祝品

会員が結婚後1年以内

カタログギフト

会員が結婚されたとき、お祝品を贈呈します。



出産祝品

会員または会員の配偶者が
出産後1年以内

- ・カタログギフト
- ・デジタルフォトフレーム
- ・オルゴール付アルバムのうちいずれか

会員または会員の配偶者が出産されたとき、お祝品を贈呈します。



小学校入学祝品

4/1～8/31(金) 必着

図書カード 3,000円分

今年度お子様が小学校に入学された会員を対象に、お祝品を贈呈します。



締め切り迫る！

高等学校入学祝品

4/1～8/31(金) 必着

図書カード 5,000円分

今年度お子様が高等学校に入学された会員を対象に、お祝品を贈呈します。



締め切り迫る！

宿泊補助

年度内8枚まで
ホテルに予約後、弘済会へご連絡ください。

補助額（1人1泊につき）
ホテル2,000円 ペンション1,500円

会員が弘済会指定の宿泊補助施設を利用されるとき、宿泊費の補助が受けられる「宿泊施設利用券」を発行します。



各事業の詳細については、事業案内や弘済会岡山支部のホームページ (<http://okakyoko.or.jp>) をご覧ください。





校舎外観

旧閑谷学校は江戸の初期1670年、岡山藩主池田光政によって庶民の入学が許された日本最古の郷校で、藩校のあった県都から遠く離れた、岡山県の東南端の中山間地にあります。本校はこの歴史を継承し、2020年に創学350年を迎えます。現在、設置学科は普通科とキャリア探求科の2学科で、単独校としては岡山県下で最も小さい1学年3学級規模の学校ではありますが、庶民に開

かれた多様性、孔子と弟子の問答集『論語』に見られる対話性を現代に活かすことで温故知新を実践しています。



香山 真一 校長

論語朗読

本校は論語を生活の指針として活用しています。古典の知恵を今の時代を生きる生徒の在り方、生き方の鑑にして自己指導力を伸ばし、品格と規律のある学校生活を築いています。始業・終業式では副読本『論語百章』を使って、生徒と教員全員が論語を朗読し、閑谷精神を受け継いでいます。生徒が持つスケジュール帳の『論語手帳』には毎週の論語が記載され、毎朝学級で朗読してから授業が始まります。



閑谷学校での論語朗読の様子

3カ国5つの姉妹校との国際交流



台湾・屏東女子高校の本校訪問

2011年1月に東備地域では初めてユネスコスクールに認定されました。和気町との協働による地域活性化と学校魅力化に取り組み、グローバル人材の育成を目指しています。また、中国・韓国・台湾の高校と友好交流協定や姉妹校協定を結び、東アジア圏であることから『論語』を共通の話題として英語でコミュニケーションを図っています。韓国への訪問団派遣、中国上海市のサマーキャンプ参加、本校主催のEnglish Campへの招待、台湾からの訪日旅行の受け入れなど、活発に交流しています。

深い学びをめざすアクティブ・ラーニング

授業の中で学力と人格を同時に磨くことができるアクティブ・ラーニングを実践しています。自分の言葉で語り直すプロセスの中で主体的に知識を更新する場を設けることを重要視しています。教師は学習環境のデザイナーであり、学習者と学習者をつなぎ、学習者が自分の言葉で知識を再構築する深い学びの実現を促し、教師が想定していた以上の考えが湧き上がってくることを目指します。その取り組みのツールとして、県内の公立高校では初めて学年全生徒にiPadを一人一台配付しました。ICTの活用を研究・推進し、学習環境の一層の充実も図っています。



iPad活用授業

地域課題発見解決型探究学習「閑谷學」



三色小町の東京販売の様子

高校生が主体的に地域の課題を見つけ、解決策を考える探究の時間です。各学年の企画・運営のコーディネーターには、地元の和気町と連携して地域おこし協力隊員が常駐して当たり、高校生が町の商工会や地域の大人の方々と連携し、対話する機会を創っています。特に地元企業と開発したハンドクリーム「三色小町」は、東京にあるとっとり・おかやま新橋館で生徒が実演販売しました。価格は800円で、本校事務室やピュアリティまきびでも購入できます。

文芸のひろば

作品の後に所属・お名前を記載しております。

教弘歌壇

藤原 明美選

〔特選〕

定年の宴の席の先輩の悔いなき笑みに精進誓う

岡山学芸館高 三宅 洋広

〔評〕「定年の宴」とは、定年退職を間近に控えた、学校での送別会であろう。長年勤められた学校を退く先輩は後悔の思いなど微塵も見せず明るく談笑しているのである。作者はこの先輩に見習って悔いのない人生を送るように精進を重ねようと決意を新たにしているのである。作者の前向きな姿勢がよい。

上の句の格助詞「の」の多用については賛否両論があるかも知れない。

〔佳作〕

旅毎に土産欠かさぬ吾が息子今は遺影となりて微笑む

退職会員 桐野 忠夫

語る人の少なくなりていつからか鉢の草木も話相手に

退職会員 戸田 周子

〔入選〕

暖かき陽は昇りたり冬の朝洗濯物干す吾を照らしぬ

退職会員 安原 和人

亡き夫がさざんか眺め椿との違いを問いしあれから五年

退職会員 花房 富恵

古代より吉備路にそびえる五重の塔は春風に揺れる桜の海に

退職会員 矢田 寛

さくらさくら花のトンネル恍惚と駆るは彼の世に案内さるごと

退職会員 松元 慶子

風信子鼻先つけて香りかき祖母と迎えた春思ひ出す

倉敷中央高 谷田 博美

孫二人万緑の中吾とともにかぶとを飾る端午の節句

和気閑谷高 北川久美子

母の背を泣き泣き追った初孫が親のスーツの似合う年頃

退職会員 奥山 拓美

大根もチンゲン菜も穴だらけ無農薬なるわが畑かな

退職会員 日瀬 信昌

今朝もまた認知症の放映に目が離せずに我が身重ねる

退職会員 瀧口 静子

教え子が同じ英語の教師となり居酒屋で飲む酒のうまさよ

岡山一宮高 貝畑 信行

◆選者吟
会ひ慣れて今日も野道に尾を振れる犬あればしばらく共に歩かむ

教弘俳壇

伊東 伸介選

〔特選〕

蛇穴を出て閑谷の論語かな

津山高 落合 範昭

〔評〕近世日本では、冬眠から目を覚ました蛇は腹を満たすより先に、礼節を学ぶため各地の学校に

集結した。＊水戸弘道館、足利学校、日田咸宜園、そして閑谷学校へである。現代日本では霞ヶ関に学校設置が必要という世論が強い。また、現代私塾の塾頭の中に日田咸宜園で学び直しが必要な者が数名いるという噂もある。

＊四校は「近世日本の教育遺産群―学ぶ心・礼節の本源―」として日本遺産に認定されている。

〔佳作〕

黄帽子の列まつすぐに風光る

玉島高 山崎 淑加

法要を終へたる人等つくし摘む

退職会員 戸田 周子

〔入選〕
小躍りをして立春の水となる

岡山中等教育学校 石井 宏幸

春雷や薙に飛び込む群雀

岡山一宮高 貝畑 信行

犬ふぐり人が好いのは父譲り

退職会員 万波 照世

梅ふわり露つらなりの如く咲く

吉備中央・加賀中 菅野 孝江

チュピントツピン声ごとはねる春の鳥

退職会員 田中由美子

旅立ちの時が来たれり夢見草

退職会員 渡辺 智子

青鷺や行間読むごと付みぬ

退職会員 松元 慶子

土開く音草木の芽の仕度

退職会員 奥山 拓美

春光や欽持つ老の手に力

退職会員 大川内 司

燕に親を重ねる生徒達

岡山学芸館高 三宅 洋広

鯉のぼり孫達の夢高く乗せ

高梁城南高 西村 毅

◆選者吟
天知る地知るテツペンカケタカ不如帰

教弘柳壇

丸山 敏幸選

〔特選〕

ごめんなあつばやく母が小さくて

津山工業高 佐々木弘人

〔評〕此の頃母が以前よりも小さく感じる。父もめつり年を取った。今迄両親に、どれだけ心配や世話をかけたことか。そんな母が私に対して「ごめんなあ」と言う。母の言葉をそのまま使い、感じたまま一句にしたことがこの句を佳句にした。

頭で考えて創った句は、なかなか良い作品にはならないものだ。心の底から沸き上がる思いを素直にまとめることが、人の琴線に触れる句を創る近道である。

〔佳作〕
新しき出合いの予感燕来る

退職会員 渡辺 智子

ときめきの心はあるが傘寿来る

退職会員 花房 富恵

〔入選〕
インスタという蠅いると信じ

岡山学芸館高 三宅 洋広

いつの間に用意したのか梅の花

吉備中央・加賀中 菅野 孝江

狭庭飛ぶ蝶の名調べて三連休

瀬戸高 北村 庸江

紫陽花が日照り続きで不満顔

退職会員 奥山 拓美

ジジイが孫に遊ばれ尻に戻る

岡山一宮高 貝畑 信行

谷あれば山が見えると前を向く

退職会員 松元 慶子

明け方に見る夢なぜか妙な夢

退職会員 田中由美子

見守り隊おはよう交す朝の道

退職会員 菱川 泰博

山笑いつばみ仲間とこも替え

美作高 初川 渉

孫たちの笑顔を見るたび元氣出る

高梁城南高 西村 毅

◆選者吟
昭和史が刻まれており母の皺

作品募集

次号は八月六日締切

応募は短歌・俳句・川柳毎に別のがきで一枚に三点以内、勤務先・氏名を明記。事務局教弘歌壇係、教弘俳壇係、教弘柳壇係と記してください。

次回会報一七〇号は十月十日発行予定です。

はがきは必ず分けてください。現職者・新人の方の投稿をお待ちしています。



みんなで植えたチューリップがきれいに咲いたよ

平成25年度から、チューリップの球根贈呈事業を行っています。
この春届いた開花のお便りの一部をご紹介します。



岡山市立御休幼稚園



岡山市立鹿田幼稚園



岡山市立陵南幼稚園



笠岡市立富岡幼稚園



真庭市立美川こども園



瀬戸内市立国府幼稚園



赤磐市立山陽北幼稚園



倉敷市立中庄幼稚園



総社市立三須幼稚園



総社市立新本小学校

公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称 日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。なお、教育振興事業の評価基準は「最終受益者は子どもたちである」ことを前提にしており、未来を担う子どもたちの健やかな成長を願っております。